

第63回日本公衆衛生学会総会学会長に就任して

第63回日本公衆衛生学会総会学会長
島根医科大学名誉教授
多田 學

平成15年10月に第62回日本公衆衛生学会総会が京都国際会議場で開催され、同第63回総会を島根県松江市において平成16年10月27日から29日の3日間かけて開催することが決まりました。第62回京都大会総会において次期学会長にご指名頂き、身に余る光栄と感じると共に皆さまに満足して頂ける大会となるように、関係者皆で努力する所存でございます。その準備として平成15年7月28日には、第1回実行委員会を開催し、島根県、松江市、県医師会を始めとして関係各職会代表、島根医科大学（現在島根大学医学部）、島根大学、島根県立看護短期大学、島根県立女子短期大学その他関係諸機関、団体と協議して準備を進めているところでございます。

日本公衆衛生学会総会は、4千人前後の多くの学会員が参加されます。松江市は15万人の小都市であり会場・宿泊など十分ご満足頂ける施設をご用意出来る環境ではございませんが、小都市での良さを心で感じて頂ける運営をしたいと考えています。学会会場は、3日間にわたりくにびきメッセ（島根県立産業交流会館）で実施する予定で準備を進めております。

第63回学会総会のメインテーマは、「地域に根ざした公衆衛生活動」と決まりました。健康に対する人間行動が如何に正しく実行されてゆくかが、健やかに生きるための1つの重要な問題要因と考えられるからです。現在わが国が不景気な世の中とは言え、経済的には世界トップレベルの国と考えられ、電化を始めとして生活の合理化が進む中で、心身共に健康でありたい思いから取り上げたテーマです。

現在、特別講演並びにシンポジウムのテーマは、細かく確定したものではありませんが、ほぼ次の予定です。特別講演（市民公開講演）としては、高齢者の健やかな健康を目指すため日野原重明先生にお願いして「元気老人の話」を予定しています。また、島根地元の「古代出雲の文化」についてを島根県立女子短期大学学長藤岡大拙氏にお願いしています。シンポジウムのテーマは、「健康日本21の中間評価」、「公衆衛生活動と住民自治」、「地域・職域におけるメンタルヘルス—自殺予防を中心に—」、「8020運動と全身の健康」、「地域リハビリテーションの展開」、「環境の問題」を予定しています。教育講演のテーマは、「たばこ対策」、「疫学的にみた日本人の高血圧の変遷と今後の対策」、「食事評価法—実地応用性と有用性—」、「宍道湖・中海汽水の今昔」、「社会的要因と健康」を予定しています。自由集会は学会場からなるべく近い所に用意をしようと思っております。また、京都大会総会で行われた「ランチョンセミナー」については、実施する方向で現在準備を進めています。

松江市は島根県東部に位置しますが、市内にぐるっと松江堀川めぐり、フォーゲルパーク、ルイス・C、ティファニー庭園美術館、松江城、小泉八雲記念館などがあり、大阪から飛行機直通の隠岐の島での魚を食べながらの観光もあります。松江から少し西に出雲大社があり、学会前後に楽しんで頂ければと思います。